

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
景観・環境	<p>阪神大震災後20年経っているが、その時に曲がった電柱が今も立っている。電柱の地中化に関する計画について、市全体の進捗率はどうか。西宮が誇れる観光施設も多いので、美観対策も考えるべき。</p>	<p>本市における無電柱化事業は、これまでまちの美観向上や災害時の救援・輸送活動のための交通路確保などの観点から、主要な幹線道路や駅周辺などで実施しており、阪急西宮北口駅周辺、市役所前線(広田神社周辺)、学園花通りなどで無電柱化整備を行ってきました。また、平成26年3月には「都市景観向上のための市道等無電柱化計画」を策定し、これを踏まえて、現在、山手幹線(熊野工区)の都市計画道路整備、阪神鳴尾駅・甲子園駅の周辺整備に合わせて無電柱化事業を行っています。</p>	市民会館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
公園	公園の大きさには地域差がある。近隣では、小さな公園しかなく、小・中学生が、公園内でボールを使い、小さな子等が危険に感じる事が多くあるのでもう少し広い公園が欲しい。公園は高齢者も利用し、異世代交流などの役割もある。	公園内の球技については、公園の大きさや近隣の住宅などとの密接度など様々な条件のもと、その他の公園利用者や近隣の皆様に迷惑にならないような範囲で行うよう指導や啓発を行っています。新規公園の整備につきましては、数多くある老朽化した公園施設の更新を最優先に進めております。現在、長年に渡り未整備であった西宮浜総合公園の整備に取り組んでおりますが、公園や広場の新設につきましては、多額の用地費や整備費が必要となるため、依然早期の対応が難しい状況となっております。	越木岩公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
計画・開発	広島で土砂災害が起こったように、六甲山系も地滑りが多い危険な場所である。平地も昔は田畑が多くあり、地質が柔らかい。危険が予想される箇所には、開発時の基準を厳しく見直して欲しい。	土砂災害の防止につきまして、兵庫県は土砂災害防止法に基づき、土砂災害特別警戒区域の指定をすすめています。これは急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域を指定するもので、特定の開発行為に対する許可制や建築物の構造規制等が行われることになります。	甲東センター

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
交通	<p>苦楽園口駅の東・北側や夙川駅の北側には、自転車駐車が ない。そのために放置自転車が非常に多い状況が続いてい る。例えば、川を暗渠にして駐輪場を増設したり、委託業者と の連携を密にし取り締まりを強化するなど検討をしてほしい。</p>	<p>自転車駐車の不足している駅周辺においては引き続き新設整備を目指すとともに、既存の自転車 駐車場につきましては、増設の可能性がある箇所について検討してまいります。 また、自転車等放置禁止区域内の公道上に放置される自転車につきましては、委託業者と連携した 巡回の強化や、時間帯を変えての撤去等を続けてまいります。</p>	越木岩公民館
交通	<p>西宮市は自転車運行の模範都市になってほしい。武庫川の堤 防道路を走るときにルールを守らない自転車が多く、車との 対向が危ない。いつ事故が起きてもおかしくないので、警察 に相談したが、まともな対応はなかった。市として何か具体的 な一歩を踏み出せないか。</p>	<p>自転車の利用環境の改善について、自転車通行空間などのハード対策に加え、現在実施している自 転車安全教室や各種広報活動など、自転車運転マナーの向上策のソフト面の対策も含め総合的に取 り組んでまいります。</p>	鳴尾公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
道路	甲東園から上甲東園に向けての都市計画道路は、現在も廃止になっていないが、甲東園の踏切から宝塚へ向けて渋滞や、仁川学院前の5差路では交通事故が多発している現状である。60年前からの計画を反故にせず、今後10年の都市計画の中に入れて欲しい。	都市計画道路門戸仁川線は、県が行う津門川貯留管整備と合わせて、国道171号付近の事業に着手する予定としております。 山陽新幹線以北、中津浜線までの未整備区間につきましては、阪急今津線との立体交差や墓地の移転などを含む大規模な事業となるため、当該区間の整備については長期的な課題と認識しておりますが、今後、国道171号北側の区間の整備状況も見ながら、事業化を行う場合の様々な課題について研究していきます。	甲東センター
道路	老松線の拡幅要望を市長への手紙で要望し、回答が到来したが、「予算がない。莫大な経費が必要である。そのため長期的課題としており、時間がかかる。」という役所らしい返事だった。予算がないなら、路線全体を施工するのではなく、今年度は1件め、次年度は2件めというように、市が取り組んでいる姿勢をみせてほしい。	都市計画道路大浜老松線は、特に幅員が狭く道路が屈曲している殿山町の一部区間において、自動車のすれ違いや歩行者の通行に支障が生じていたため、平成28～29年度に暫定的に道路幅員を拡幅するなどの安全対策を実施しております。都市計画道路としての道路拡幅整備につきましては早期の事業化は困難な状況で、今後の長期的な課題と考えております。	越木岩公民館
道路	大規模災害時に青葉台の橋も通れなくなると、青峯連絡道も当然、土砂崩れは起きる。道路だけ作っても、役に立たない。土砂崩れ防止対策をして初めて有用になると思う。	青峯連絡道の工事により道路に接している斜面につきましては、技術基準に対応した勾配で整形し、安定した安全な斜面とする計画としております。	塩瀬公民館
道路	道路の整備が上谷高田病院周辺の清水橋で止まっているのはなぜか。地権者の立ち退きも生じるうえ、上山口の内側の道のかさ上げが伴い、使い勝手も悪くなるので、硬直しているようだが。開通時期はいつか。有馬川沿いの道路で狭く、大型バスも走るので危ない。いずれにせよ早く決めて欲しい。	都市計画道路丸山線のことだと思いますが、国道176号から有馬川までの間は昭和61年度から平成8年度にかけて行われた土地区画整理事業で完成しました。 有馬川から山城南幹線までの間については、市の都市計画マスタープラン、道路整備プログラムで平成30年度までに着手する道路として位置づけられています。昨年度（平成29年度）現況測量と予備設計を行い、今年度地元権利者に対し現状の計画案を示しました。 市としては、街路事業（用地買収方式）で行うよりも土地区画整理事業（換地方式）で丸山線を整備したほうが山口地区全体のメリットが大きいのではないかと考えております。これらのことも踏まえ、これから地元権利者等と協議を行い土地区画整理事業による面的な整備で早期に丸山線も整備していきたいと考えております。	山口公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
施設	市役所前公共駐車場の無料時間は30分である。前回、広聴会で「議案に提案され、審議中であり、間もなく答えが出る」と言われたように記憶している。近隣市の駐車場は、すべて1時間無料である。	市役所前公共駐車場をはじめとする公共駐車場の運営については、現行の料金体系を保持することを条件として事業者と賃貸借契約を締結し、その賃料も決められています。来庁者のみを1時間無料の取扱いに変更することによる駐車場料金収入への影響が正確に見込めないため、現時点では、適正な賃料等の変更契約内容を見出すことも困難な状況です。このため、多くの近隣自治体が採用している開庁時間帯において一律1時間無料とする料金体系など、料金収入への影響を見込みやすい方法も含めて検討を進めてまいります。	越木岩公民館
施設	統合した後の病院跡地はどうなるのか。	統合後の中央病院の跡地については、地域医療や周辺環境に配慮しながら、市で活用方法を検討してまいります。また、県立西宮病院の跡地については、市役所の隣地であるため、まずは県市で有効活用を検討してまいります。	市民会館
施設	旧高須東小跡地でのパークアンドライド保育について、元の建物や跡地利用はどうするのか。広場をつくり市民に利用してもらうなど考えてほしい。	パークアンドライド方式の認可保育所用地を除く小学校跡地につきましては、将来的な武庫川団地内の公共施設の再編や団地全体の再整備を見据え、それまでの間、民間事業者への有償貸付による有効活用を図ることとしています。現在、公募型プロポーザル方式による事業者選定手続きを進めているところでありますが、公募に際しては、事業の一環として、地域住民も利用できる施設やコミュニティスペース等の配置など「地域のまちづくり・賑わい創出」に寄与する計画の提案を求めています。	鳴尾公民館
施設	市役所（庁舎）は暗い・古いと感じる。市役所はまちづくりの上で中心になるものだから見直すべき。そのための経費は行政のスリム化に合わせ財源捻出を。	本庁舎をはじめ、周辺に点在し老朽化が進む公共施設の再編整備は長期にわたる取り組みとなるため、建替え更新とあわせた機能の集約化や複合化、適正配置など、まちづくりと連動した総合的な整備構想を取りまとめ、効率的な施設整備を進めます。また、市が実施する事業の財源捻出にあたりましては、来年度中に改革の基本方針を策定して効率的な行政運営を図るほか、民間事業者による収益事業の導入など、保有資産の有効活用等による新たな財源確保にも努めてまいります。	鳴尾公民館
施設	中央体育館の改築について、現地（河原町）で建て替えなくても、甲子園浜の厚生年金プール跡地が良い。交通の便もよい。今の計画より、整備の経費をもっと安く上げる方法もある。	新体育館は、現状の利用実態などに鑑み、現行の延床面積よりも拡大するとともに、「みるスポーツ」の観点から観客席を増やす必要があると判断しております。現在ご提案の浜甲子園運動公園の敷地は国有地であり、敷地面積やその利用条件により、興行利用や増床などを想定している新体育館の仕様に見合う土地ではありません。またすでに多目的広場として利用されていることから、当該敷地を新体育館の建設予定地とすることは困難であると考えています。	鳴尾公民館
施設	病院統合に向けた取り組みの中で、こども未来センターも同じ建物に入ると聞いていた。今のセンターの現状は、待機が多い。県内でもリハビリ施設がなく、肢体不自由や重度の方は県外に行っている。この現状を踏まえて、幅広く対応できる病院の活用の仕方を考えてほしい。	現在、早期の病院統合合意に向けて県市で協議しておりますが、統合新病院の診療機能や病床規模等については、統合合意後に策定する基本計画のなかで協議する予定です。こども未来センター診療所は、18歳までの身体・知的・発達に関する診療と、各種の小児リハビリテーションを実施しています。診療所では医師の増員など診療体制の充実を図るとともに、ペアレント・プログラムなど診療待ち期間の保護者の不安を軽減するための事業を実施しています。	鳴尾公民館
施設	学校施設の有効活用と開放をしてほしい。	本市の学校施設は、スポーツクラブ21や青少年愛護協議会など、地域団体の活動のため、休日や夜間に開放しております。なお、学校施設の開放については、「西宮市学校施設の目的外使用に関する規則」に基づき、自治・文化・体育・福祉・レクリエーション・公益その他、学校教育を目的としない活動のための会場として一時使用のご希望があった場合、学校運営に支障のない範囲で申請に基づき使用を許可することができます。また、学校教育上支障のない範囲で施設の有効活用を図ることは、効率的な施設管理の観点からも重要であると考えます。児童・生徒数の減少により転用可能な教室が発生した学校では、留守家庭児童育成センターや子育て広場をはじめ、他の用途への転用を図っているところです。引き続き、学校運営上や施設管理上の問題などを整理し、他の公共施設への一部転用や複合化について検討してまいります。	塩瀬公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
教育	小中一貫の取組みが西宮浜で検討されているように聞いたが、他地域でも考えて欲しい。	現在、西宮浜小学校と中学校を本市で初の小中一貫校として開校するために平成32(2020)年4月からの実施に向け、準備を進めております。ここで培われたノウハウは市内の他の小中学校に還元する予定です。また、西宮浜での成果を踏まえ、将来的には、他地域においても同様の展開も視野に入れております。	鳴尾公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
健康・福祉・雇用	病院統合が一番関心があるのは、タイムテーブルである。着工時期の目途など聞きたい。	現在、早期の病院統合合意に向けて県市で協議しておりますが、他病院の統合事例では、統合合意から開院までは6～7年を要しております。	甲東センター
健康・福祉・雇用	児童館を日曜、祝日も開館してくれれば子育て世代にとって非常に助かる。子供が遊びに行きやすい日曜日に児童館等を開館し、子育て世代に対して魅力的な発信ができれば、色々な世代、人と交流できると思うので検討して欲しい。	市直営で実施するには、職員の雇用条件等の課題があります。また、民間に委託した場合、平日は休館となる可能性はありますが、土・日に開館できるという手法も考えられます。市民の立場からみて、何が一番、合理的か等、考えてまいります。	越木岩公民館
健康・福祉・雇用	病院統合について、地域の病院という性格をその中に残してほしい。	統合新病院の診療機能や病床規模等については、統合合意後に策定する基本計画において定めることとなりますが、原則としてこれまで中央病院が果たしてきた役割については新病院に引き継ぐこととしています。今後とも公立病院としての役割を果たすべく、救急・災害医療や小児・産科医療の充実、また地域の医療機関等との連携や役割分担等を行い、西宮市の医療環境の向上を図ってまいります。	市民会館
健康・福祉・雇用	学童センターは運営事業者によってサービスに差がある。ならば、運営を民間に委託していけばよいのではないかな。	今年度、すべての育成センターの指定管理者について公募を実施し終わりました。公募により複数の事業者が運営を行っており、民間事業者のノウハウを活用することができ、また、各事業者間でいい意味での競争意識が生まれ全体のスキルアップにつながっていると考えております。	市民会館
健康・福祉・雇用	近くの保育園に申請したが、2年も待たされたあげく希望が叶わず、あきらめて幼稚園に行った。保育所入所の点数制の決め方が市民にわからない。噂では便宜を図ってもらった人がいると聞く。2月まで結果がわからないことは不安が大きい。入所にあたっては公に抽選などをして欲しい。	保育所等の入所利用調整については、国からの通知により、申込者ごとに保育の必要度について指数（優先順位）づけを行い、指数が高い方から順に利用をあっせんすることとなっているため、抽選方式を採用することはできません。なお、指数づけの基準となる利用調整基準表は、保育入所課窓口や市ホームページで公表しています。結果通知の時期については、可能な限り早期にできるよう努めてまいります。	鳴尾公民館
健康・福祉・雇用	障害をもつ子供を育てているが、保育所入所に関し、障害があるということだけでは加点にはならなかった。それでは何で決めているのか。本当に子育てのヘルプが欲しい人のところに重点を置いてほしい。	心身に障害を有する保育所申込児童に係る加点は、利用調整基準表別表第2調整指数No.8の「申込児童が障害児保育を必要とする場合」に限られるため、心身に障害を有する保育所申込児童のすべてが加点の対象となるわけではありません。なお、障害児保育を必要とするか否かについては、西宮市あゆみ面接（障害児保育）要綱に基づくあゆみ保育入所審査会の審査結果をもとに決定します。	鳴尾公民館
健康・福祉・雇用	保育所の数を単に増やすだけでなく、インクルーシブな教育を取り入れ、保護者や地域にも理解してもらえるよう取り組んでほしい。	子供の安全や育ちを見守りながら、一人一人の子供の多様性を認め、保育の場にいるすべての子供たちがよりよく生活し、発達していくことを目指して保育を進めていきます。また、保護者や地域に対しての啓発についても研究してまいります。	鳴尾公民館
健康・福祉・雇用	生瀬小学校の学童保育は、現在、小学3年生までだが、今後、4年生以上の拡大について市の考えを聞きたい。	4年生児童の受入れについては、平成30年度現在、通年利用として、市内11カ所で開催しております。今後も、実施可能なところから順次拡大しながら、平成30年代半ばを目標に、全育成センターで4年生を受入れたいと考えております。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	病院統合について、用地の取得額55億円の内、県との負担割合は6対4の割合で、市が負担額が33億円と多くなっている。なぜ6対4なのか。また、所有が県となる理由は何か。	県内中核市（尼崎市・姫路市）における県立病院の整備では、当該用地は地元自治体が無償貸与しており、同じく中核市である西宮市が用地取得費を負担することで合意しました。また、国が公立病院の統合再編を進めるに当たって設けました財政措置に係る特例を利用することにより、取得費の約4割の交付税措置が受けられるため、市の実質負担は約6割（33億）となります。しかしながら、この特例措置を利用するためには、事業主体である県が用地を購入する必要があるため、結果的に県の所有となりますが、将来的に病院用地として使用しなくなった際には、その用途を市へ委ねるとともに、市が公共的な利用をする場合は県から市に無償で譲渡することになっています。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	病院統合について、整備費の負担割合は、2：1だが、この半分というのは機能的な面であるのか。どういった形でスキームを組んだのか。	統合新病院は県立県営となりますが、原則、中央病院の機能を継承するとともに、市が運営に関与し、市内の医療環境の向上を図るものであることから、費用負担の割合については、他病院の統合事例でも用いられている両病院の稼働病床数割を採用し、2：1（県400床：市193床）としております。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	統合後の病院は、県の持ち物ということだが、借地という形にし、ローンのようなものはないのか。	公立病院の統合・再編に係る国の特例措置（整備費の4割分を国が負担）を受けるためには、統合新病院の事業主体である県が土地を購入する必要があり、必然的に県の所有となります。市が土地を購入して県へ貸し出す場合には、この交付税措置が受けられず、費用の総額が増大してしまいます。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	健康寿命と言われているが、リハビリのことが言われていない。リハビリ病院を推奨している市もある。リハビリ病院を作ってほしい。	高齢化の進展や医療の高度化・専門化に伴いリハビリテーション需要が増加・多様化している現状については、平成30年3月に改定された兵庫県保健医療計画にも記載されており、それに向けた医療機関の受け入れ体制の整備の必要性については、本市も認識しております。ただし、医療機関の病床の配分や開設許可等は県の所管となっていることから、市が主体となり受け入れ体制の整備を進めていくことは困難であると考えております。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	大きな病院ができて、北部の者からすれば宝の持ちぐさ。統合病院へ北部地域から簡単にいけるような交通アクセスを一緒に考えてほしい。	病院の機能分化（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）が進む中、統合新病院は、日常的な診療ではなく、高度急性期・急性期病院として、がんや循環器系疾患などを始め、主に入院や手術を必要とする疾患に対応するとともに、命に関わる3次救急や小児救急、災害時医療などの面で全市的に貢献することを予定しています。市民の利便性の向上につきましては、今後具体的な事業の進捗を見極めながら検討してまいります。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	保育所でインフルエンザに1人がかかると、広がることが多い。そういった環境で育っている子供たちはとても可哀そう。空気環境ということに対して、市も考えて欲しい。	関係機関からのインフルエンザ発生状況や感染防止対策にかかる通知を保育所へ送付することで周知を図っております。また、保育所で集団感染した場合は、報告を受けるとともに必要に応じて相談・助言などを行っております。病児保育に関しては、平成30年12月に1施設が開設したことにより現在市内では4施設で実施しており、平成31年4月にはさらにもう1施設の開設を予定しています。今後も、施設の地域的な偏在を解消していくためにも、病児保育施設の増設を検討してまいります。	塩瀬公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
健康・福祉・雇用	身近にある公民館で、高齢者に向けた健康問題を勉強する機会を作ってほしい。健康問題について勉強できれば、介護保険も使わず、大分違うのではないかと思う。	本市では、食生活・運動・歯・心の健康などのテーマで地域に職員が出向きお話をする『出前健康講座』を実施しています。西宮いきいき体操の後や老人会、いずみ会活動をしている公民館等で実施することができますのでご活用ください。 また本市では介護予防の取り組みとして「西宮いきいき体操」を推進しており、222グループが取り組まれています（平成30年11月末現在）。市からの支援内容として、実施グループに対して口腔・栄養等の講座を実施しておりますのでぜひご参加ください。 公民館では、地域から選出された公民館活動推進員により、多様な講座を企画・実施しています。各館の推進員会の選択によりですが、健康問題への関心は高いため、健康管理・病气予防・体操等健康にかかわる講座を多くの館で実施していますので、ご参加いただければと思います。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	県立病院として統合病院を運営するが、ある程度の人数は、西宮市の職員も受け入れるように折衝するのか。	統合新病院は県立県営となりますが、市も病院運営に意見を表明し関与できるよう、県市で運営協議会を設置することにしております。また、新病院の管理・運営部門に対する市職員の配置も考えており、今後、県と協議してまいります。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	市と県の病院統合について、北部住民にはメリットがない。北部の病院環境に関しても考えを持って取り組んでもらいたい。	病院の機能分化（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）が進む中、統合新病院は、日常的な診療ではなく、高度急性期・急性期病院として、がんや循環器系疾患などを始め、主に入院や手術を必要とする疾患に対応するとともに、命に係わる3次救急や小児救急、災害時医療などの面で全的に貢献することを予定しています。	山口公民館
健康・福祉・雇用	子育てに関してだが、山口幼稚園は人数が減少、名塩は閉園の方向に向かっている。幼稚園は教育委員会が保育園と所管が異なる縦割りだ。幼保園にするなどして若い人がはいてくるような取組みをしてほしい。	認定子ども園の設置に関しては、まずは民間の認定子ども園の整備を前提に検討を進めるとしてまいります。公立幼稚園の認定子ども園化の検討にあたっては、地域における就学前児童数の推移や民間事業者による認定子ども園の設置状況、保育所待機児童数の状況を見極めながら慎重に判断する必要があると考えております。	山口公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
防災・防犯	南海トラフ地震に対する市の取り組みを聞きたい。	南海トラフ地震に対する防災・減災対策として、現在以下の取組みを推進しています。今後も継続的に見直しを行いながら、内容の充実に努めてまいります。 ●対応体制の強化 ・非常用物資の備蓄 ・避難場所や避難誘導等の標識設置 ・第二庁舎（危機管理センター）整備に伴う最新の防災情報システムの導入 ・市総合防災訓練及び緊急情報伝達訓練 ●市民啓発・地域支援の実施 ・自主防災会の活動に対する各種支援 ・災害時要援護者支援の強化のため、「西宮市地域避難支援制度」の推進 ・地域での小学校区防災訓練 ・津波避難行動指針や防災マップ、市政ニュース等を通じた広報周知 ・防災講演会や出前講座、各種イベントを通じた啓発 ・学校園での出前講座及びHUG（避難所運営訓練）	甲東センター
防災・防犯	甲子園浜等には公共交通機関がない。各々がマイカーで避難行動をすると停滞し、事故のリスクがある。例えば、避難用のバスで誘導する等の避難方法の見直しはしているのか。	避難は原則徒歩によります。発災時の車両使用は渋滞を引き起こすケースが多く、特に浸水を伴うような災害では水没する恐れがあるため、現在のところ、避難用バス等の車両使用は検討しておりません。また、自家用車の使用がやむを得ない災害時要援護者（高齢者、身障者等）の皆さんには、できるだけ早い段階での避難行動を啓発しているところです。	甲東センター
防災・防犯	総合防災訓練を日曜日や祝日に実施してほしい。また、親子で参加できる市民向けのイベントを充実してもらえれば家族みんなで防災について楽しみながら学べる機会が増えると思う。	民間企業や防災関係機関等との連携の確認と強化を図ることを目的としているため、関係者が参加しやすい平日に実施しております。総合防災訓練で市民が参加しやすいイベント開催については、今後、検討してまいります。	越木岩公民館
防災・防犯	民間の家にも危険なブロック塀がある。危険なブロック塀を点検し、危険個所には指導をしてほしい。	通報等のあった危険ブロック塀については、その所有者に対し適切に維持保全して頂くように口頭又は文書で通知しています。 また、道に面した危険ブロック塀については撤去補助を行っております。	越木岩公民館
防災・防犯	市内には今後、どれくらいの防犯カメラの設置を続けることができるのか。	平成29年度から実施している防犯カメラ設置事業は、主に街頭犯罪に対する防犯効果を期待するとともに、地域防犯活動を補完し支援することを目的としています。設置場所は通学路を中心とした公共性の高い場所となりますが、平成29年度各小学校区で開催した設置場所検討会にて地域からいただいた要望をもとに警察と協議のうえ設置場所を決定し、平成29年度からの3年間で市内全域合計300台を順次設置する予定となっております。	越木岩公民館
防災・防犯	台風21号で、高波が押し寄せてくるのを目の当たりにした。防潮堤のかさ上げをできないだろうか。	台風21号の高潮被害を受け、国は専門家、港湾関係者、府県、政令市などで構成する「大阪湾港湾における高潮対策検討委員会」を設置し、西宮港を含む主要港のハード・ソフト対策等を検討しております。また、この委員会の部会として、神戸地方気象台と専門家で構成する「尼崎西宮芦屋港部会」を県が設置しており、防潮堤を含む海岸保全施設の整備効果の検証を進めているところです。これらの検証等を注視してまいりますと考えております。	市民会館
防災・防犯	災害時にSNSで確認できない人は避難所に来たときは遅い状態になっているので、方法を考えてほしい。また自分はどこの避難所に行くべきかを明確にしておきたい。	災害時にどこの避難所がいつ開くかなどの情報を各戸配布する防災マップ等に示していきます。また、情報の入手については携帯電話のメールで届く「にしのみや防災ネット」が有効であるため、携帯電話をお持ちでない場合、家族やご親戚に登録していただき、連絡をもらうようなことをお勧めいたします。	市民会館
防災・防犯	防災スピーカーが聞こえない。防災ラジオが有効だと思うが値段が高い。	防災スピーカーは、様々な条件により「聞こえない」または「聞こえにくい」地域があり、市では防災スピーカーの他に「にしのみや防災ネット」や「SNS」、「緊急速報メール」「テレビのデータ放送」、「市ホームページ」「緊急告知ラジオ」などの方法で、情報配信を行っています。防災スピーカーだけに頼ることなく、市民一人ひとりがご自分の生活スタイルにあった情報取得手段を多重的に準備して頂きたいと考えています。 なお、緊急告知ラジオ(定価8,000円(税抜))につきましては、全市民に対して1/2を補助し、4,000円(税抜)で販売しております。	市民会館
防災・防犯	最近大きなガラスの庇を設置しているマンションが多くあり、台風で枠から外れ、ガラスが落ちる等の被害があった。ブロック塀に限らずガラスの庇も危ない。建築基準法にかからないようだが、市も関心をもってガラス庇に対して規制をつくってほしい。	建築基準法上、ガラス庇も風圧等に耐えられるように設計施工されなくてはなりません。台風等の自然災害時には想定外の外力が発生する場合も考えられます。	鳴尾公民館
防災・防犯	障害者が行った避難所で不安になるケースが多々あったので、配慮のあるマニュアル作りなどに力をいれて欲しい。対応する市職員も最低限の障害に対する知識を備えて欲しい。	一般の避難所での生活が困難な高齢者、障害者など、要配慮者に対しましては、身体状況などの所見に基づき、避難所に設置する福祉避難室の活用に向けて取り組みを進めているところです。要配慮者などの避難所での生活支援について、関係部局とマニュアル整備も含めたより良い体制づくりに取り組んでまいります。	鳴尾公民館
防災・防犯	災害で起こった停電と断水の関係が、住民には分かりにくい。どのような状況なのか教えて欲しい。	停電になった場合でも、水道施設が稼働していれば水を使用することができます。しかし、電力が必要となるポンプを使って各戸へ給水しているマンションやビルなどは、停電に伴いポンプが停止し、各戸への給水ができなくなり、断水に至ることになります。そのようなマンションやビルなどには、電気を必要としない非常用給水栓が地上付近に備えられています。非常用給水栓の位置の確認や使用は、管理会社等にお問い合わせいただけますようお願いいたします。	塩瀬公民館
防災・防犯	避難所開設について、大震災等で交通が遮断し、職員が北部まで来られない場合の対策として、地元だけで解決できるようなシステムを作ってほしい。特に北部は交通の条件が悪いので。	市では現在、交通遮断を考慮した避難所開設要員等の配置について検討しているところです。また、指定避難所を地域住民で開設することについても課題整理を進めてまいります。	塩瀬公民館
防災・防犯	塩瀬地区は消火用の給水を川からしており、高いところには消防車とホースを絡ぎ足す必要がある。時間もかかり、水圧もなかなかあがらない。防火水槽の整備を計画的に進めて欲しい。	防火水槽を含めた消防水利については、国の示す消防水利の基準に沿って計画的な維持管理及び適正配置に取り組んでいます。また、設置から50年が経過した防火水槽が増加していることから、順次調査点検を行い、優先順位をつけたうえで計画的に補修・更新を実施してまいります。	塩瀬公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
防災・防犯	<p>県河川の洪水危険地域として有馬川がある。豪雨のたびに色々なものが流れてくる。洪水事故につながるので事前に整備とチェックをして欲しい。</p>	<p>有馬川につきましては、市が河川管理者である県からの委託を受け、除草業務を年1回行っており、今後も県とともに適切な維持管理に努めてまいります。また、近年、想定を超える降雨が頻発していることから、市が発信する防災情報の取得に努めていただきますようお願いいたします。</p>	山口公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
行政	大阪北部地震のとき、学校のブロック塀に「危険、地震のときはこの壁からはなれてください」という掲示があったが、箇所により、掲示開始時期が1か月もずれているほか、西宮市教育委員会 学校管理課という表示のみで責任者がわからず、不信感が拭えない。ブロック塀撤去工事が着工されても、注意書きが貼られておらずおかしい。	今後は、速やかな掲示に努めてまいります。また、所管課名と併せて連絡先も記載しておりますので、ご不明な点はお問合せください。なお、工事の着工後も、箇所に応じた調整が必要なこと、フェンス部材の供給が遅れていることなどにより、現場での施工までに時間を要している場合もあります。	甲東センター
行政	市営住宅で、殺虫剤等を混合させたものが散布される。市や業者も安全性に問題ないとのことだが、混合させると危険ではないかと思っている。廃止して欲しい。	市営住宅では、敷地内樹木の害虫の発生状況を確認し害虫防除のための薬剤散布を行っています。薬剤の使用に際しては、害虫の特性に応じ、関連法規、メーカー等で定められている使用基準、方法を遵守し使用しておりますが、周辺住民に影響のないよう、引き続き事前周知ビラや当日の広報車等による周知に努め、安全確認を行いながら実施いたしますので、何卒ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。	甲東センター
行政	市営住宅の児童遊園の低木や雑草の除草は入居者が実施するルールになっているようだが、高齢化が進み、実施が困難であり、手に負えないという状況があると聞く。何とか市で対策できないか。	市営住宅の遊園は公営住宅法に基づく共同施設であり、除草清掃等の日常管理は入居者の負担による自主管理で行っていただくこととなっております。しかしながら、高齢化等により自主管理が困難な住宅が増加傾向であり、市はその支援制度として市及び指定管理者が入居者に代わり共益費の徴収、共用部分等の管理を行う共益費一括徴収制度を設けております。	甲東センター
行政	障害者が本庁に行くのは大変である。支所でも障害者手帳などの手続きができるようにして欲しい。	障害福祉関係業務のうち、身体障害者手帳につきましては、平成30年1月から、新たに各支所で身体障害者手帳の交付申請、再交付申請、返還届等の預かりを行っております。また、一部の業務につきましては、本庁での取り扱いのみとなっているものもございますが、郵送で可能なお手続きもございますので、お問い合わせくださいようお願いいたします。	鳴尾公民館
行政	空き家に不法投棄が増えており、不安を感じる。空き家対策は私有地であるため、解決は難しいことはよく理解しているが、市の取り組み状況がわからない。	管理ができていない空き家については、日常生活に支障が出るなど、著しく周辺に悪影響を及ぼすような場合、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づいて特定空家に認定し、助言・指導によっても改善が認められなければ、勧告、命令、代執行へと進みます。法の趣旨に沿って、解決につながるよう進めてまいります。	越木岩公民館
行政	北部地域は交通不便地域のため、市役所まで行くには時間がかかる。支所でできる手続きも多くあるが、本庁でしかできないものがある。支所が本庁に取り次ぐなど、支所に行けば申請や手続きが全て終わるようにして欲しい。	支所は住民票の写しの交付など、様々な窓口業務を行うとともに、その地域にお住いの住民にとって身近な地域の行政サービスの拠点として、また、本庁担当課への取り次ぎを行うなど市民サービスの充実に努めているところです。障害福祉サービスに係る申請手続きの一部については担当課と調整を行い、支所で預かり、担当課へ送付するなどの取り次ぎができるよう、平成30年1月より業務の拡充を行いました。今後ともさらなる地域住民へのサービス向上に努めるとともに、各支所、本庁関係部署との連携を図りながら、取り扱い業務の拡充について検討してまいります。	塩瀬公民館
行政	市のお金の使い方は様々な報道から非常に甘い感じをもつ。福祉や防犯に関して不正使用の話聞く。昔と今は違うのでしっかりと取り組んでもらいたい。	公金の取扱いをはじめ事務執行において不適正な処理事案が発生した場合は、その都度、所管部署から事案の発生理由やその背景を聴取し、再発防止の取り組みを検討しております。補助金の交付については全庁的に検証を行い、今回と同様の不正受給事案が発生しないよう取り組んでまいります。	山口公民館

平成30年度 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
その他	首長の姿勢について、石井市長は4年間どのようなタイプで、職員を引っ張り、各地域の繁栄や市民の幸せを確保していくのか。	これまで広い意味で行政出身の市長がしばらく続きました。私は外から来た政治家タイプですが、まずは多くの市職員と議会とタッグを組んで落ち着いて市政を回すこと、地に足をつけて取り組んでいきたいと考えています。	山口公民館